

mFtoSF 変換プログラム ver1.0

使用説明書

2015 年 6 月

目次

1	プログラム概要.....	3
2	インストール	3
3	使用方法.....	5
4	注意点	7
5	著作権・免責事項	8

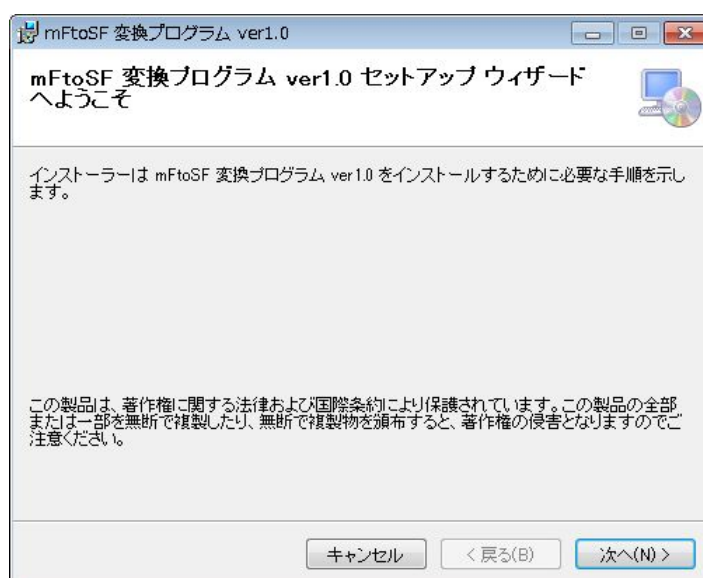
1 プログラム概要

本プログラムは、テキストで作成された既存の microFLUSH 入力データを、SuperFLUSH/2D ver6.0 のテキスト入力データに変換するプログラムです。

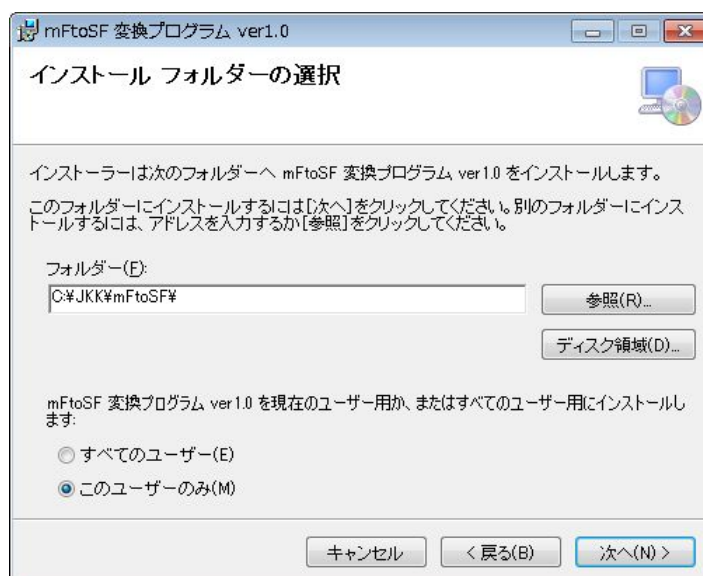
2 インストール

1. ¥mFtoSF¥setup.exe を実行します。

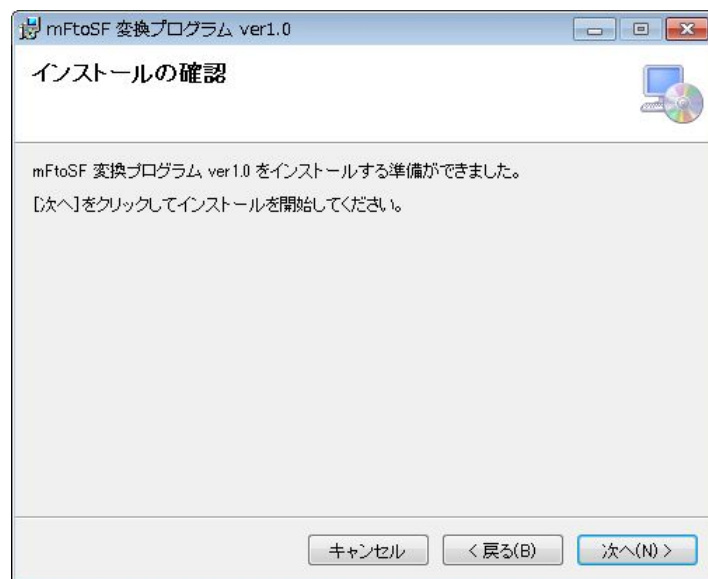
2. [次へ(N) >] をクリックします。



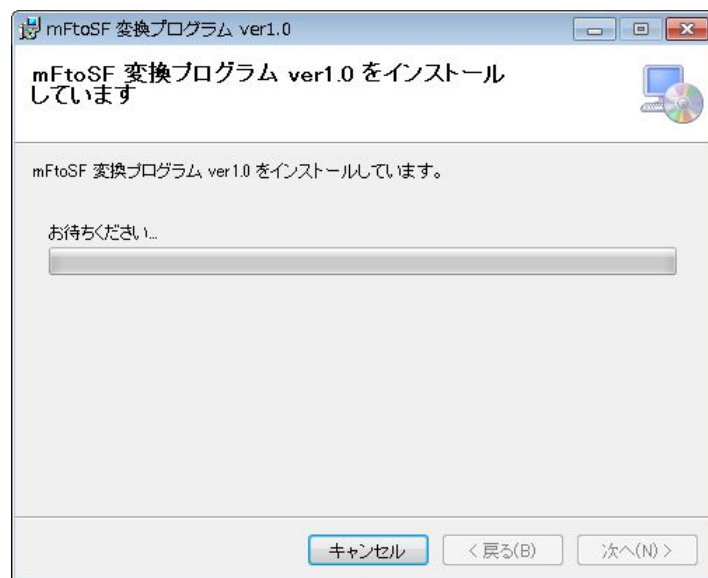
3. インストールするフォルダ、インストールするユーザーを選択して、[次へ(N) >] をクリックします。



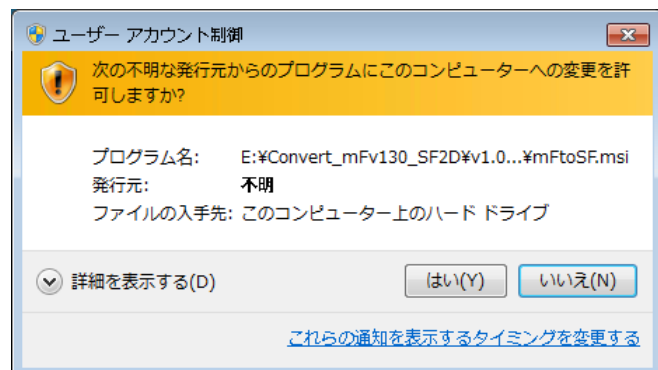
4. [次へ(N) >] をクリックします。



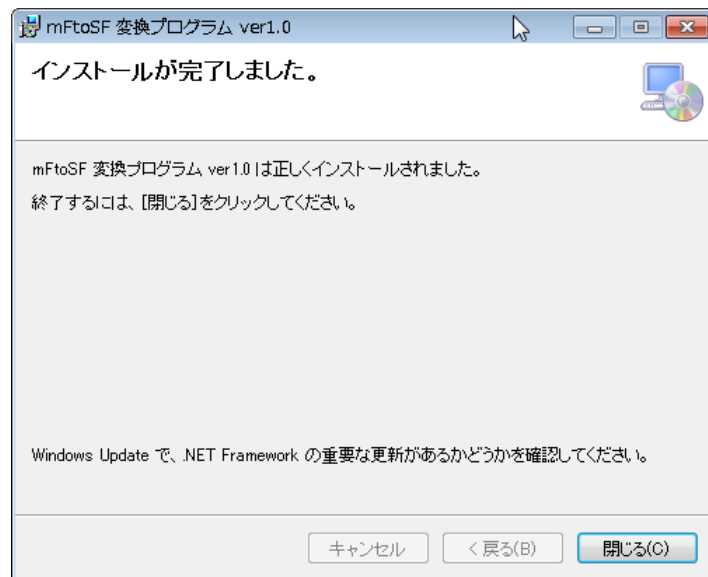
5. インストールが完了するまで待ちます。



※ 右のようなメッセージが出る場合は、[はい(Y)] をクリックすると、インストールが始まります。



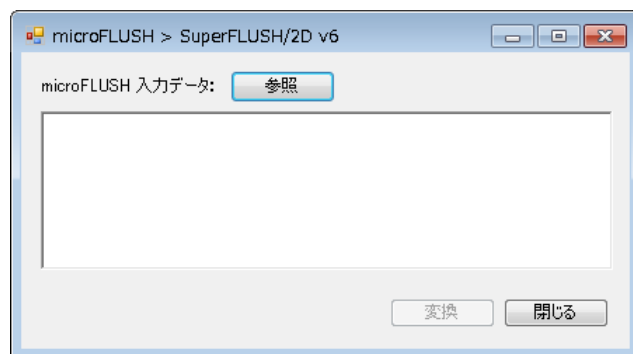
6. インストールは終了です。



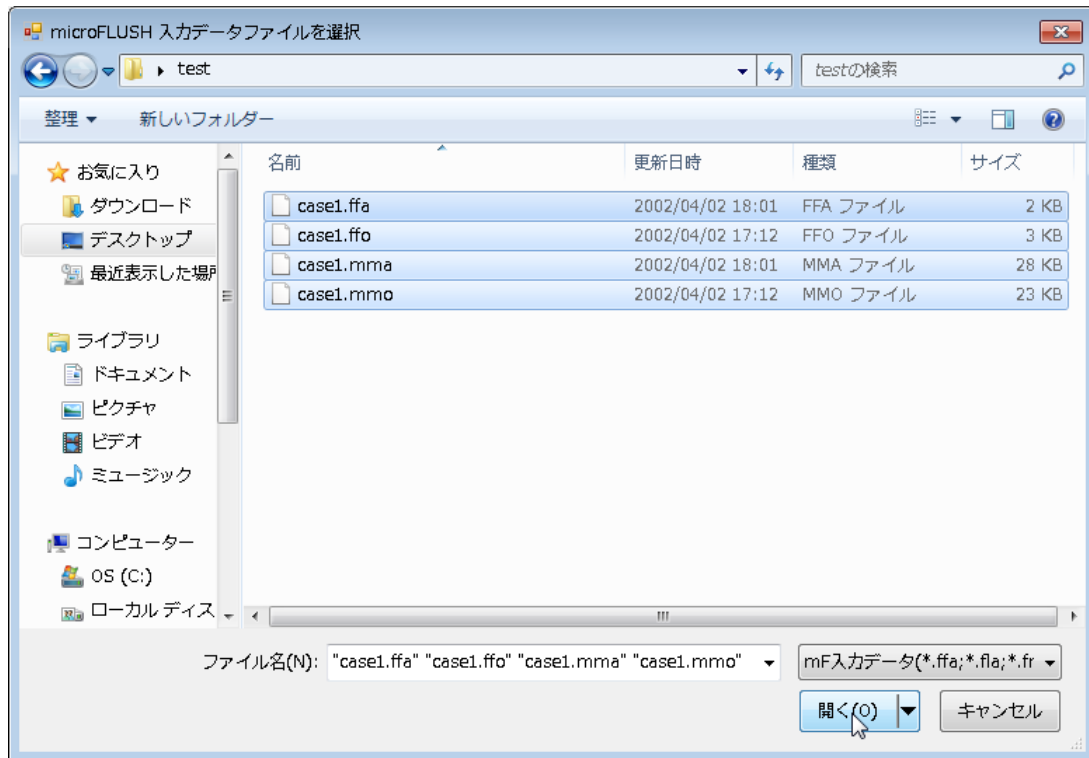
※ 本プログラムの起動には Microsoft .NET Framework 4 が必要です。PC にインストールされていない場合、ダウンロードとインストールが実行される場合があります。

3 使用方法

1. ♪(インストールしたフォルダ)¥mf2sf.exe を実行します。

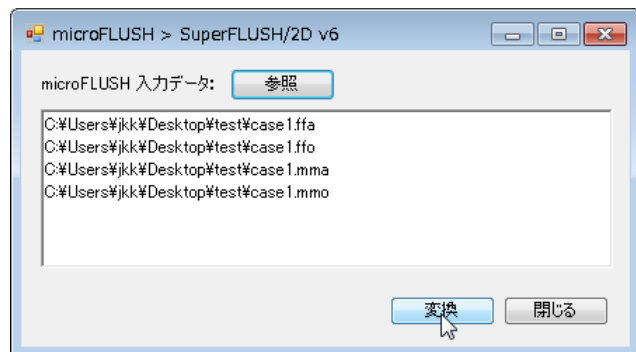


2. [参照] をクリックし、既存の microFLUSH テキスト入力データを選択します。



※ 出力指定ファイル (*.ffe, *.flo, *.fro, *.mmo) はなくても動作します。

3. [変換] をクリックすると変換を実行します。



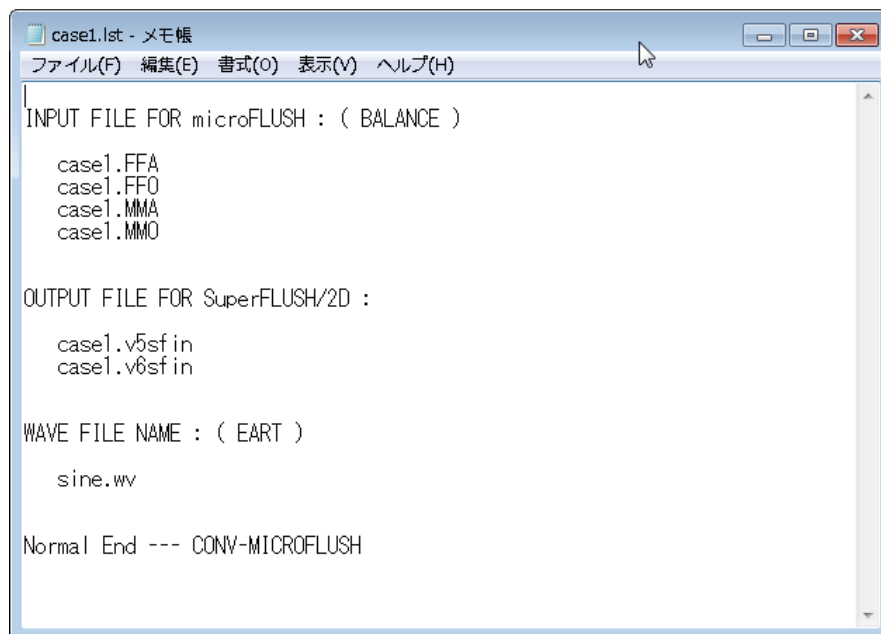
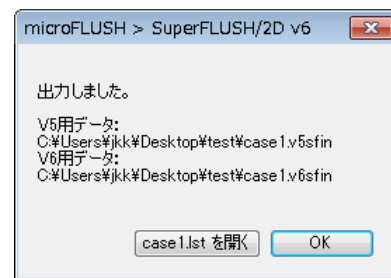
※ 選択した microFLUSH 入力データと同じフォルダに変換後のファイルを出力します。

Ver5.3 形式: *.v5sfin

Ver6 形式: *.v6sfin

4. 変換が終了すると右のような画面が出ます。

[(ファイル名).lst を開く] をクリックすると、変換前のファイル名、返還後のファイル名、入力動ファイル名、変換エラーの有無が表示されます。



4 注意点

- microFLUSH のビーム要素の等価線形特性に関しては、SuperFLUSH/2D にはその機能がないため、変換時に無視されます。（線形のビーム要素として変換されます。）
- 変換されたテキストデータは、固定フォーマットになります。十分な桁数は確保しておりますが、桁落ちの可能性もありますので、変換後のテキストデータは必ずご確認ください。

5 著作権・免責事項

本ソフトウェアの使用にあたっては、次の内容（著作権、免責事項）を承認されたものとします。

《著作権》

このソフトウェアは自由に使用することができますが、著作権は放棄しておりません。地震工学研究所の許可無く内容の全て又は一部を他へ配布・販売などを行うことはお断りします。

《免責》

明示、黙示を問わず本ソフトウェアについて、地震工学研究所は品質上、権利上の何等の保証責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアの使用の過程および結果において、本ソフトウェアに起因または関連して生じた損害および第三者に生じた障害に対する責任を含め、いかなる責任も負わないものとします。

また、プログラムの不具合等を見つけた場合は、メール（jkk@flush.co.jp）で連絡頂ければ、今後のアップデートに反映させていただきます。